

目次

直江兼統の生涯 4

新潟県

上越

春日山城跡 14
御館跡 18
林泉寺 20
居多神社 22
高田城跡 24
直峰城跡 26
鮫ヶ尾城跡 28

中越

坂戸城跡 30
雲洞庵 34
龍澤寺 樺沢城跡 36
下倉山城跡 38
与板城跡 40
徳昌寺 44
栃尾城跡 46

下越

天神山城跡 48
新発田城 50
鳥坂城跡 54
村上城跡 56

佐渡

羽茂城跡 58
妙宣寺 60

山形県

山形城跡 62
最上義光歴史館 64
長谷堂城跡 66
畑谷城跡 68
亀岡文殊堂 70

米沢

上杉神社稽照殿 72
米沢城跡 76
松岬神社 78
米沢市上杉博物館 80
上杉家廟所 82
林泉寺 84
宮坂考古館 88
法泉寺 90
東源寺 92
直峰町 94
直江石堤 96
白布温泉 98

福島県

若松城 神指城跡 100
向羽黒山城跡 104

富山県

魚津城跡 106

直江兼統をめぐる人々 108
戦国時代のおもな城館跡 115
系図(樋口氏・直江氏) 116
直江兼統略年譜 120
史跡マップ 122

●掲載地のデータは平成21年4月現在のものです。変更になる場合もありますので、あらかじめご了承ください。



上杉謙信が根拠地とした天下の名城

春日山城跡

かすがやまじょうあと

上越市大字中屋敷

MAP/P122-D-1



▼春日山城本丸跡北下に「直江山城守宅趾」と刻まれた石碑がたつている。直江山城守兼統の

屋敷跡と伝えられている所である。坂戸城下（南魚沼市）で誕生した兼統は、主君上杉景勝の近習として春日山城に移った。

慶長三（一五九八）年、上杉景勝の会津（福島県会津若松市）移封に従って米沢城（山形県米沢市）に入るまで、春日山城を根拠地とした。

春日山城は別名を鉢ヶ峰城ともいい、標高一八〇呎の中世の典型的な山城で、国の史跡に指定されている。上越地方を押し

える要衝に立地しているため、南北朝の動乱時代（十四世紀中頃）に築城されたと思われる。

春日山城を戦時の要害として堅固な構えにしたのは、守護代長尾為景であった。春日山城が天下の名城になったのは、上杉謙信のときである。上杉景勝・堀秀治も城を普請しているが、部分的であった。

謙信は天文十七（一五四八）年、春日山城主になってから、天正六（一五七八）年に死去するまでの三十年間、春日山城を根拠地に関東・信濃・北陸へと東奔西走した。

謙信の死後、家督相続をめぐって養子の景勝と景虎とが争った。御館の乱である。景勝

は樋口兼統とこの乱を制し、豊臣大名として徳川家康・前田利家とともに五大老に列した。

慶長三（一五九八）年、上杉景勝が豊臣秀吉から会津移封を命じられ、代わって堀秀治が越前北庄城（福井市）から入った。慶長十二（一六〇七）年、堀忠俊が福島城（上越市港町）に移り、廃城となった。



春日山城跡



三の丸屋敷跡
(米蔵跡、三郎景虎屋敷跡などを総称して呼んだもの)



直江山城守宅趾の碑



本丸跡



直江屋敷跡



大井戸

春日山城の規模はきわめて大で、春日山の全域に及び、面積は五〇〇畝を超える。実城（本丸跡）から延びる尾根を利用して郭・空堀・土塁などを配している。実城西下の井戸は山城の井戸としては全国最大で、現在も水を満々とたたえている。本丸跡から北へ下ると、毘沙門堂・お花畑・「直江山城守宅跡」の石碑が続く。一方、本丸跡から東へ下ると、二の丸跡・米蔵跡・三の丸跡・「上杉三郎宅跡」の碑が続く。ここが上杉景虎の屋敷跡と伝える。

城下の大豆から中屋敷にかけて監物堀・監物土居と呼ばれている堀や土塁が構築され、今日もその一部が残っている。ここに春日山城跡ものがたり館・春



毘沙門堂

日山城史跡広場がある。春日山神社（祭神上杉謙信）は、明治三十四（一九〇一）年、旧高田藩士小川澄晴によって創建された。春日山城跡は近年、「日本百名城」に選ばれた。



本丸跡から米山方面を望む